

福祉にいがた

Fukushi Niigata

CONTENTS

巻頭特集

県内3カ所で
介護助手就職フェア（2・3面）

- 県民たすけあい基金助成事業紹介
- ユニゾンの図書館に新着図書100冊
- 長岡向陵高校のボランティア活動紹介

11月号
2019
第807号



絵 高橋 郁丸「神送り」（漫画家・新潟市中央区）・文 11面

県内3カ所で介護助手就職フェア



各ブースでは事業所職員から施設の概要や仕事の内容が具体的に説明された(新潟会場)

介護人材の裾野拡大を目指し、新潟県は9月下旬、県内3会場で「介護助手として働きたい方向けの就職フェア」を開催しました。元気な高齢者だけではなく、子育て卒業世代を含めた幅広い年代を対象とした同就職フェアは初の試みです。フェアと併せて、4会場で介護の基礎を学ぶ「介護に関する入門的研修」も行いました。参加者や参加事業所からは今後の継続開催を望む声が寄せられています。

新潟会場は研修にも高い関心

介護助手は、福祉施設などで片付けや食事の準備と

です。高齢者の生きがいがいくつりともなりません。

いった補助的・周辺業務に当たる職員です。資格や経験は必要なく、介護に関わり

一方、介護助手の採用は、介護福祉士など専門の介護職員にとっては心身の負担

軽減に役立ち、より施設利用者らと接する時間が増え、ケアの質向上につながることが期待されています。

就職フェアは9月

21日に長岡市、同22

日に新潟市と上越市

の3会場で開催されました。延べ27の法人

人がブースを出展し、合わせて64人の

来場者は、法人・施設担当者から施設の

概要や仕事について詳しく説明を受けて

いました。

研修は、3会場の初日に合わせて、介護の基礎的な

知識と技術を学ぶ「介護の仕事を知る 介護に関する入門的研修」(全4日間、

受講料無料)を行い、佐渡市でも同21日から同様の

「入門的研修」を行いました。全日程を修了した人

は修了証が発行されました。新潟会場は定員の50人

を超える応募があり、関心の高さを示していました。

入門的研修は合計21時間で、介護分野への多様な人

材の参入を促すことが目的です。介護職の役割や介護

の専門性をはじめ、認知症の人及びその家族に対する

支援や関わり方、障害の概念や障害者福祉の理念、介

護現場における事故や感染

などのリスクに対する予防・安全対策・対応策などについて学びました。

人材不足が深刻な介護現場です。団塊の世代が75歳

の後期高齢者となる2025年には、県内で3500

人の介護職員が不足すると推測されています。こうし

た喫緊の課題に対し、県は今回、介護に関心がある人

や介護職場で働きたい人と介護事業所をマッチングす

る、就職フェアと研修会を組み合わせた「県介護助手

確保支援事業」を行いました。これは、平成29(20

17)年に行った、高齢者に限定した「高齢者「介護

助手」導入支援モデル事業」に次ぐ対応策です。

◇ ◇

就職フェアに来場した人

「介護助手とは」介護職をサポートする仕事で、幅広い年代が活躍でき、資格や業務経験がなくてもOK。高齢者らの話し相手や食事の配膳、清掃、ベッドメイキングなどを行い、入浴や排泄、食事の介助はしない。

参加者アンケート結果

参加者総数（3会場） 64人
 回答数 51人（回収率 79.6%）

性別	人数	割合
男性	10	19.6%
女性	39	76.5%
(無記入)	2	3.9%

年齢	人数	割合
39歳以下	3	5.9%
40歳代	9	17.6%
50歳代	16	31.4%
60歳代	17	33.3%
70歳代	6	11.8%
80歳以上	0	0.0%

職業	人数	割合
無職	16	31.4%
主婦	6	11.8%
会社員	4	7.8%
その他	8	15.7%
(無記入)	17	33.3%

介護業務の経験の有無	人数	割合
有	11	21.6%
無	40	78.4%

参加理由（複数回答あり）	人数	割合
チラシ等を見てこれなら自分でもできそうだったから	30	58.8%
短時間でもやれそうだったから	16	31.4%
介護に関する入門的研修に参加して案内されたから	6	11.8%
その他	7	13.7%
(無記入)	2	3.9%

※複数回答ありの項目で回答者数に対する割合を表示しているため、構成比の合計が100%を超える。

本イベントの感想	人数	割合
とても満足	18	35.3%
満足	18	35.3%
普通	12	23.5%
やや不満	0	0.0%
不満	0	0.0%
(無記入)	3	5.9%

介護助手として働く際に重視するもの（3つまで）	人数	割合
自宅からの通勤距離	33	64.7%
仕事内容	32	62.7%
勤務日数・勤務時間	30	58.8%
職場の雰囲気	22	43.1%
やりがいがある	10	19.6%
年齢制限がない	10	19.6%
長く働ける	5	9.8%
給料	4	7.8%
施設の評判	2	3.9%

※複数回答ありの項目で回答者数に対する割合を表示しているため、構成比の合計が100%を超える。

へのアンケート（図表参照）によると、来場者の7割以上が女性で、予想より若い50代、60代が中心でした。8割近くが「介護の経験なし」と答えています。参加理由については、「自分にもできそうだった」が6割近くを占めています。働く際に重視するのは、「通勤距離」と「仕事内容」「勤務日数、勤務時間」が上位でした。

「希望地域の参加が少なかった」「もう少し事業所、施設から来てほしかった」という声も。県に対しては、「フェアの回数を増やして」「たくさん地域でしてほしい」との要望が出されました。出席者へのアンケートでは、「介護事業に興味はあっても、ネガティブな印象を拭いきれない方が散見されたが、顔を合わせて説明すると安心された。一般の方と事業者がコミュニケーションを取れる機会がもっとあると良い」「働く意欲のある人が多い」「若い人の来場もあり説明のし

がいがあった」などと参加者についての感想が記されていました。県に対しては「企画が良かったと思うし、続けてほしい」「会場をもつと分かりやすい場所。柏崎も開催してほしい」「参加者が来やすい場所にする」などの意見が寄せられています。

教員の研修受講強く望む

新潟県介護福祉士会の宮崎則男会長は、介護助手の導入について、効果を期待しながらも、「施設側としては、業務の切り分けと役割分担による業務の整理をしなくてはいけない。仕事の流れの中で、きちんと介護助手に指示を出せるリーダー役が必要となるだろう。雇用体系を

担当の県高齢福祉保健課介護人材確保係では「一定のニーズがあったことが分かった」と事業実施の手応えを感じています。については「新潟会場が定員を超えるなど、介護について学びたい人が一定数いることが分かった」とするとともに、「高校の先生方に受けてほしい。教員の世界に浸透することを期待する」と強調します。先生方が介護職への理解を深めることが、インターンシップとして生徒を送り出すことや、介護職の道への後押しに結びつくとの思いがあります。



赤い羽根情報

赤い羽根共同募金運動 開始セレモニーを開催

10月1日に新潟市の新潟日報メディアシップで「赤い羽根共同募金運動開始セレモニー」を開催しました。

セレモニーでは、58回目となる空の第一便伝達式のほか、川通どれみ保育園（三条市）の園児による「ありがとうメッセージ」や「歌の披露」「募金活動」を行いました。



伝達式の様子

共同募金助成により大型遊具が整備される予定の保育園の園児の皆さんが「ありがとう」がとうござい
ます。大切に
して、みんな
で楽しく遊
びます」と
挨拶し、「と
べバツタ」な
ど2曲を元気
良く合
唱しました。
その後、中
原新潟市長
など出席
者の皆様
から街頭
募金活動
を行いました。



街頭募金



園児によるありがとうメッセージ

障害者支援施設車両 助成交付式を開催

9月12日に新潟ユニゾンプラザで障害者支援施設車両助成交付式を開催しました。これは「新潟県遊技業協同組合」から毎年いただいている多額の寄付を原資として助成されているものです。

交付式では小田会長から特定非営利活動法人新発田市をつなぐ育成会（新発田市）の籠島理事長と特定非営利活動法人支援センターあんしん（十日町）の樋口会長に助成目録が贈呈されました。

県遊技業協同組合の佐藤理事長からは「社会貢献活動の必要性、組合が果たす役割を考え、引き続き社会福祉活動を推進していきたい」とのお言葉をいただきました。

籠島理事長からは「安心、安全に利用者の方を送迎致します」、樋口会長からは「ようやく大型の送迎車両を整備できました。大切に活用します」と感謝の言葉がありました。



助成交付式の様子

会員数
26.8万人
(2018年度末現在)

福祉・介護職員の
福利厚生は
ソウェルクラブに
おまかせください

ソウェルクラブ(福利厚生センター)は…

社会福祉事業・介護保険事業に従事する方の福利厚生を全国で展開し、スケールメリットを活かすことにより、個々の法人では実現が難しい充実したサービスを提供しています。

01
加入
メリット

- 職員のリフレッシュやストレス解消
- 職員の就労意欲の向上
- 職員のチームワークの構築
など

02
掛金

職員1人当たり毎年度1万円
※非常勤職員向けに5千円コースも
ご用意しています。

03
ソウェルクラブの
10大
サービス

生活習慣病予防
健診費用助成金

4,120円助成

慶事のお祝い品
(結婚、出産、入学)

1万円または5千円の
商品券を贈呈

弔慰金

- ・ 会員死亡 **60万円**
(就業中の死亡は180万円)
- ・ 配偶者死亡 **10万円**

健康生活用品給付

毎年全会員に給付

永年勤続記念品

勤続5～30年(5年刻み)及び
35年以上の退職時に贈呈

資格取得

5千円相当の記念品

- ① 各種講習会
- ② 海外研修

- ① 受講料・教材費無料
- ② 参加費の**10万円補助**

ソウェルクラブ“クラブオフ”

ホテル、レジャー施設、飲食店など
7.5万件以上の優待サービスが利用可能

クラブ・サークル活動

1人あたり
1,000円助成

会員交流事業
(都道府県ごとの各種イベント)

割安な参加費

資料請求は
こちら

<法人・事業所のご担当者の皆さまへ>

ご希望の方には、ソウェルクラブのサービス内容をコンパクトに
まとめたパンフレットを送付いたしますので、お気軽に下記宛てにご連絡ください。



平成31年度

全社協 保育所の損害補償

スケールメリットを活かした有利な補償と割安な保険料です。



◆ 加入対象は社会福祉法人等が運営する認可保育所、認定こども園

セットプラン

● 簡単、便利なインターネットで手続きを

ふくしの保険

<http://www.fukushihoken.co.jp>

	基本セット補償	保険金額	年間保険料	
			定員数	保険料
賠償責任	対人賠償	1名→1億円 1事故→7億円	41～50名	22,700円
	対物賠償	1事故→1,000万円	51名以降 1～10名増ごとに 90名まで	1,200円
	受託物賠償	200万円(自己負担なし) うち現金補償→20万円限度	91～100名	29,300円
	人格権侵害	期間中→1,000万円	101名以降 1～10名増ごとに 150名まで	1,200円
	事故対応特別費用	期間中→500万円	151名以降 1～10名増ごとに	1,420円
	被害者対応費用	1事故→10万円限度 (見舞金・見舞品は1名につき5万円限度)		
園児傷害	死亡保険金	121.2万円	園児1名	870円 1口あたり (2口まで加入できます)
	後遺障害保険金	程度に応じて死亡保険金額の4%～100%		
	入院保険金	1,700円*		
	通院保険金	1,100円		

基本セット補償保険料計算例	
100名で加入の場合	
賠償	29,300円
傷害	870円 ×100名 ×1口
合計	116,300円

*手術保険金のお支払額は、入院中の手術の場合：入院保険金日額の10倍、外来の手術の場合：入院保険金日額の5倍となります。

	天災セット補償	保険金額	年間保険料	
			定員数	保険料
賠償責任	対人賠償	1名→2億円 1事故→10億円	41～50名	28,000円
	対物賠償	1事故→1,000万円	51名以降 1～10名増ごとに 80名まで	1,500円
	受託物賠償	200万円(自己負担なし) うち現金補償→20万円限度	81～90名	33,900円
	人格権侵害	期間中→1,000万円	91～100名	36,200円
	事故対応特別費用	期間中→500万円	101名以降 1～10名増ごとに 150名まで	1,500円
	被害者対応費用	1事故→10万円限度 (見舞金・見舞品は1名につき5万円限度)	151名以降 1～10名増ごとに	1,800円
園児傷害	死亡保険金	108万円	園児1名	1,190円 1口あたり (2口まで加入できます)
	後遺障害保険金	程度に応じて死亡保険金額の4%～100%		
	入院保険金	1,500円*		
	通院保険金	1,000円		

セットプランをおすすめします!!



個別プラン

プラン1
保育所業務の補償

- ① 基本補償
- ② 個人情報漏えい対応補償
- ③ 保育所の什器・備品損害補償

プラン2
保育所利用者の補償

- ① 園児の傷害事故補償
- ② 来園者の傷害事故補償
- ③ 園児送迎車搭乗中の傷害事故補償

プラン3
保育所職員の補償

- ① 保育所職員の労災上乗せ補償 **設定**
- ② 保育所職員の傷害事故補償
- ③ 保育所職員の感染症罹患事故補償 **設定**

プラン4
社会福祉法人役員の補償

社会福祉法人役員等の賠償責任補償

● この保険は全国社会福祉協議会が損害保険会社と一括して締結する団体契約（賠償責任保険、個人情報取扱事業者賠償責任保険、学校契約団体傷害保険、普通傷害保険、労働災害総合保険、約定履行費用保険、動産総合保険、費用・利益保険）です。

● このご案内は概要を説明したものです。詳しい内容のお問い合わせは下記までお願いします。●

団体契約者 ▶ **社会福祉法人 全国社会福祉協議会**

(引受幹事) 損害保険ジャパン日本興亜株式会社 医療・福祉開発部 第二課
 保険会社) TEL: 03(3349)5137
 受付時間: 平日の9:00～17:00(土日・祝日、12/31～1/3を除きます。)

取扱代理店 ▶ **株式会社 福祉保険サービス**

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F
 TEL: 03(3581)4667 FAX: 03(3581)4763
 受付時間: 平日の9:30～17:30(12/29～1/3を除きます。)

(SJNK18-13581 2019.1.16作成)

引き続き加入施設・加入者数は増加傾向

平成30年度新潟県民間社会福祉職員退職積立基金制度

本制度は、県社協の会員である施設・団体に勤務する職員が退職する際に年金もしくは一時金を支給し、生活の安定に寄与することを目的とし運営しています。

平成30年度末時点での加入者数は22,689人となり前年度に続き、増加傾向にあります。また、男女別でみると男性が28%、女性が72%となっており、年齢別では40代が最も多く27.4%となっています。加入期間別では、1年以上5年未満が最も多く30.8%となっており、10年未満の加入者が全体の55.7%を占めています。

平成30年度における給付状況は、退職年金が計28,386,193円、退職一時金が1,817人に計586,317,657円支給しました。

1 加入施設・加入者の状況

	平成28年度末	平成29年度末	平成30年度末
加入施設・団体数	616	631	635
加入者数	22,121	22,539	22,689

※届出の遅れ等により、数値が変動することがあります。

2 年齢・男女別加入者状況

年齢	男性	女性	合計	構成比
20歳未満	18	28	46	0.2%
20歳以上30歳未満	1,203	2,860	4,063	17.9%
30歳以上40歳未満	1,944	3,906	5,850	25.8%
40歳以上50歳未満	1,795	4,424	6,219	27.4%
50歳以上60歳未満	936	4,000	4,936	21.8%
60歳以上	457	1,118	1,575	6.9%
合計	6,353	16,336	22,689	100.0%

3 加入期間・男女別加入者状況

期間	男性	女性	合計	構成比
1年未満	151	391	542	2.4%
1年以上5年未満	1,791	5,188	6,979	30.8%
5年以上10年未満	1,601	4,057	5,658	24.9%
10年以上15年未満	1,144	2,814	3,958	17.4%
15年以上20年未満	736	1,810	2,546	11.2%
20年以上25年未満	499	1,071	1,570	6.9%
25年以上	431	1,005	1,436	6.3%
合計	6,353	16,336	22,689	100.0%

4 給付の状況

(単位：円/人)

	平成28年度	平成29年度	平成30年度
退職者給付総額	506,205,883	500,628,298	614,703,850
一時金給付総額	485,052,623	475,902,472	586,317,657
一時金給付者数	1,576	1,550	1,817
一時金平均額	307,775	307,034	322,684
年金給付総額	21,153,260	24,725,826	28,386,193
年金延給付者数	559	623	691
年金給付平均月額	12,614	13,229	15,188

福祉NEWS

2019年9月11日～2019年10月10日

■ 65歳以上 過去最高28.4%

総務省が9月15日に発表した人口推計によると、65歳以上の高齢者は同日時点で前年より32万人多い3588万人、総人口に占める割合は0.3ポイント増の28.4%と、いずれも過去最高を更新した。また、県内の65歳以上の高齢者は、推計で71万8千人だった。昨年より5千人増え、過去最多を更新した。県人口に占める割合(高齢化率)は32.3%で、前年から0.5ポイント上昇し、こちらも過去最高となった。県は、「全国より5年程度早く高齢化が進んで

いる」(統計課)とみている。

■ 高齢者就業者 最多862万人

政府は、労働力調査で2018年の65歳以上の就業者が862万人と過去最高を更新したことを踏まえ、高齢者の就業機会の確保に取り組む。「全世代型社会保障検討会議」(議長・安倍首相)の初会合が9月20日に開かれ具体策が検討された。

■ 幼保無償化スタート 3～5歳児原則全世帯

幼児教育・保育の無償化が10月1日から始まった。3～5歳

児は原則全世帯、0～2歳児は所得の低い住民税非課税世帯を対象に、認可保育所や幼稚園の利用料を無料にする。子育て世代の経済的負担を軽くして出生率向上につなげる狙いで、同日から始まる消費税率10%への引き上げに伴う増収分を財源に充てる。政府は、高齢者に手厚かった社会保障制度を若手世代に振り向ける「全世代型」への転換を図っており、幼保無償化はその手始めだ。年間300万人が対象となる見込みで、本年度予算は半年分で3882億円に上る。

県高校ボランティア講習会 春夏2回、認知症サポーター講習も

新潟県高等学校文化連盟（高文連）ボランティア専門部主催の講習会が、5月28日（火）に新潟市総合福祉会館で、8月9日（金）にはアオーレ長岡で開催されました。ボランティア専門部には、県内約40校のボランティア関連の部・同好会が登録しています。

新潟での春季講習会には、9校66人の生徒・教職員が参加し、午前は全体会で、ボランティア入門のテーマのもと、新潟市社協の各区ボランティアコーディネーターの方々から講義をしていただき、ボランティアの語源から学びました。そのあと高校生たちは8班に分かれ、これからやりたいボランティア活動について話し合いました。午後は、2グループに分かれ、視覚障害者ガイドへ

ループ法講習と認知症サポーター講習を交互に受けました。視覚障害講習では、土岐悦子さんの指導で、全盲とロービジョンの違いを学び、白濁・視野狭窄の疑似体験とガイド法の実習をしました。認知症講習では、市社協地域福祉課在宅事業

運営係の方々から認知症と物忘れの違い、適切な対応などについて、DVDも使って教えていただきました。長岡での夏季講習会には10校20人の生徒・教職員が参加し、長岡手話サークル・あゆみの方々による聴覚障

害理解と手話の講習、長岡点訳の会の方々による視覚障害理解と点字の講習、長岡市認知症キャラバンメイト（施設職員）の方々による認知症サポーター講習が行われました。

講習会に参加した生徒には、認知症サポーターオレシリングのほか、県視覚障害者福祉協会から視覚障害者サポーター認定証も交付していただきました。参加生徒は、「これから

障害者の人たちと出会ったら、『手伝うことはありますか』と声をかけていきたいです」、「今日の講習会で『自分でもできることがあるのでは?』と思えるようになりました。なので、今から困っている人がいたら、積極的に助けていきたいと思えます。」と感想を述べています。このような理解と技術、積極性をもった若者が増えていけば、未来は明るいですね。

高文連ボランティア専門部

委員長 栗川 治

（新潟西高校）

ボランティア部顧問



認知症サポーター講習会(長岡会場)



手話サークルの指導による点字の講習



手話サークルによる手話の講習



福祉委員会メンバー

長岡向陵高等学校の福祉委員会は、各クラス2人ずつ男女不問で選出されています（各学年12人で合計36人）。部や同好会、授業（実習）とは違うため、定期的な主体性を持って活動に取り組むことは難しいのです

すると次の通りです。赤い羽根共同募金（10月下旬～11月上旬）では、校内の生徒・教職員に対する呼びかけや集計を行いました。その結果、5,616円募金することができました。県立長岡聾学校寄宿舎訪

1、2年生の有志6人が参加しました。

全校校外クリーン活動（5月23日）では、福祉委員会が校地外周や喜多町バス停までのゴミ拾いなどを、総務委員会が喜多町バス停周辺の清掃を行いました。

県高文連ボランティア専門部夏季講習会（8月9日、アオーレ長岡）には、3年生の2人が参加しました。講習会は毎年2回行われていますが、本校からは初め



聡慧祭（文化祭）でのチャリティーバザー

長岡向陵高等学校 福祉委員会

一つ一つの活動を大切に

が、昨年の10月から今年9月までの活動内容を紹介します

問（10月22日）では、交流会という形で児童・生徒さんと回転トークをしました

での参加となりました。文化祭（9月7日）では、チャリティーバザーを開催し、売上金全額7,320円を長岡市社会福祉協議会

【部の紹介】

長岡向陵高等学校の生徒会には、福祉委員会（県高文連ボランティア専門部に登録）を含めて、総務、評議、生活、保健、体育、文化祭実行、環境整美、応援、図書、視聴覚（県高文連放送専門部に登録）、広報（県高文連新聞専門部に登録）、選挙管理という13の専門委員会がある。

で、2年生10人が参加しました（あと2人は弓道部の大会と重なりやむを得ず欠席）。この交流会をきっかけに、学校外で手話を習い始めた生徒もいます。

県赤十字血液センター献血ルーム千秋のクリスマス飾り付け（12月10日）には、

ならびに保護者、教職員の皆様にも感謝しています。

この他、エコキャップの校内での回収とその呼びかけ

け（通年）を行ったり、校内の庭や花壇を整備するお手伝い（冬季以外適宜）を総務委員会や園芸部、学校技術員さんなどと協力しながら実施したりしています。

他の県高文連ボランティア専門部に登録されている学校さんの実践発表や状況報告にははるか遠く及びませんが、自分たちができる活動や取り組みの一つ一つを大切に、いろいろな方面・方向へと少しずつでもつながっていくと良いと感じています。

福祉委員会担当教諭

高野 めぐみ

Ⅱ次回は1月号に掲載Ⅱ

県民たすけあい基金助成事業紹介

オレンジカフェ ぷらむ

事務局 神田 和美

〒950-00134 新潟市江南区曙町1-7-23

電話 090-4946-1816

認知症があってもなくても皆で楽しく

オレンジカフェぷらむは、新潟市江南区にある医療、福祉事業所の専門職が

日頃の業務の研さんとして、定期的な学習会や安心して暮らせる地域作りの活動することを目

そのご家族、介護を終えた方、認知症に関心のある方など、さまざまな方が毎回60人ほど集う。

介護者の体験紹介

的とする、江南区在宅・医療福祉ネットワークのメンバーで運営されている。同市亀田地区コミュニティセンターで毎月第3日曜日の13時30分から開催し、お茶菓子代200円を参加費として頂く。認知症ご本人や

65歳以上の高齢者で7人に1人が認知症だといわれる時代、介護保険制度では、住み慣れた地域で暮らし続けるために社会資源の充実を図ろうとしている。しかし、現場で働く私たちは、それだけでは安心して笑顔で暮らせるには足りないと感じているのも否めない。認知症になっても変わらない地域との繋がり、友人関係も大切なことである。認知症になると自分から周囲

との繋がりを断ったり、特別な人のように感じて周囲から離れていってしまうことも少なくない。オレンジカフェぷらむでは、認知症ミニ講座や介護者の体験の講演会を企画するなどして、正しく認知症を理解し、認知症になっても以前と変わらない関わりが出来る仲間作りの場になればと考える。また、ピアノ演奏や笑いヨガの楽しめる企画もある。同時に認知



笑いヨガを楽しむ

症ご本人が交流し合う場や、介護者の情報交換の場になるようにも企画している。このたび、県民たすけあい基金の助成を頂くことにより、仙台市の認知症ご本人の丹野智文さんをお招きして、講演会が行えることとなった。丹野さんは、認知症の正しい理解のためと、全国にいる認知症ご本人を励ますために、講演会などで活躍している。認知症ご本人にしか語れないメッセージをオレンジカフェぷらむに参加する、認知症ご本人や、地域の方に伝えていただきたい。そして、それを受け止め、明日から何が出来るかを皆で考え、取り組める地域を目指していこうと考える。

|| 随時掲載 ||

新潟の信仰

旧暦10月は神さまが出雲に集うと言われています。神さまがいなくなるので10月を神無月といいます。神さまが集まる出雲では神在月というそうです。

新暦に変わり、神様が旅立つ日も全国でまちまちのようですが、魚沼市の皇大神宮では、11月1日を「お神送り」、12

て必ず強風が吹いたり、荒れると考えられています。

全国から神様が集まる日に、留守番をする神様もいました。足が悪いといわれている恵比寿さまと諏訪大社の神さまです。諏訪の神さまは蛇体で、その姿を皆が恐れるから来なくていいと言われたという話があります。

出雲の神といえば大国主命ですね。恵比寿さまは大国主命の息子の事代主と言われていますし、諏訪大社の祭神・建御

神送り 出雲に向く神様に良縁願う

月1日を「お神迎え」と呼んで、現在も神様を送迎する参拝者でにぎわうそうです。

かつては全県下で出雲へ行かれる氏神様を送るために神社にお参りに行っていました。全国から出雲に集った神様は縁組の相談をすると言われていて、参拝者は自身や子どもの良縁を願って参拝していたのです。

神様は出雲への行き帰りは白馬に乗るそうですが、天の道を駆けるのでしょうか。神様が移動する日は「神荒れ」とい

名方命も大国主命の息子です。その2人が行かない、というのも不思議ですが何か秘密があるのかもしれない。さあ、今年はどうなご縁が結ばれるのでしょうか。神荒れの日には神様が駆けていく空を見上げて聞いてみたいですね。

文・絵 高橋 郁丸

(新潟県民俗学会理事・

新潟妖怪研究所長)



新潟ユニゾンプラザ 情報

◆主な貸室の紹介 【多目的ホール】



【座席数】 448 席
固定席：336 席
可動席：112 席
【舞台】
間口：14.6 m
奥行：8.1 m
高さ：7.6 m

各種の視聴覚設備を取り揃えたホールです。448席のうち、前側112席はステージの下に収納できます。また、ホールには、子ども連れの方用に「親子室」があります。

また、プロジェクターが新しくなり、従来よりサイズが大きく、映像も鮮明に投影されるので、是非ご利用ください。



NEW!

貸ホール・貸会議室は新潟ユニゾンプラザへ

多目的ホール、大会議室、大・中・小研修室など用途や規模にあわせてご利用いただけます。

無料の専用駐車場(220台)を完備しております。

◆貸室の利用申込方法

ユニゾンプラザホームページよりお申し込みください。貸室の予約状況も公開しています。

URL：<http://www.unisonplaza.jp/>

【保育ルーム】



【授乳室】



施設内にてイベント開催時には、主催者が保育ルームを開設し、子どもを預ける場所として無料でご利用いただけます。館内の貸出施設と合わせてご予約ください。また、館内には「授乳室」もあります。

ユニゾンの
図書館①
新たに100冊
特設コーナーも活用ください

ユニゾンの図書館（新潟市中央区、ユニゾンプラザ2階）に、新たに購入した図書45冊と新潟医療福祉大学図書館からお借りした図書55冊、合わせて100冊が加わりました。併せて、10月末から県内3カ所で開催される「福祉・介護・健康フェア2019」（新潟県社会福祉協議会など主催）に関連した図書を集めた特設コーナーを設けました。ぜひ、お立ち寄りください。



ユニゾンの図書館内に設けた特設コーナー

購入図書は「車いすユーザーのママが、周りを巻き込み、助け合う子育てを実践する「ママは身長100cm」（伊是名夏子著）から、コミックの「新 ちいさいひと 青葉児童相談所物語」（1）（6）（夾竹桃ジン、水野光博著）などと幅広いニーズに合わせた書籍をそろえました。

ユニゾンの
図書館②
県立図書館と
コラボ出展

ユニゾンの図書館では、11月17日に新潟市中央区の朱鷺メッセで開催する「福祉・介護・健康フェア2019」に、新潟県立図書館と連携したPRブースを出展します。テーマは読書。福祉の専門書を中心に所蔵するユニゾンの図書館の内容及、県立図書館が障がいや加齢による読書困難者向けに行っているサービスを、多くの

また、新潟医療福祉大学からお借りする本年度第2回目は、「口腔ケア」と「発達障害」、「ひきこもり」と関心の高いテーマの書籍を選びました。「脳卒中患者の口腔ケア」（植田耕一郎著）、「発達障害」と言いたがる人たち」（香山リカ著）、「ルポひきこもり未満」（池上正樹著）が一例です。特設コーナーには、発達障害の子どもたちに就労支援を行なっている著者がす

人に知ってもらい活用してもらうことが狙いです。

ユニゾンの図書館は貴重な資料を含めた福祉関連書籍の閲覧コーナーを設けます。県立図書館では、パソコンを使い、画像と音声で読書を楽しむマルチメディアデジタル図書などの体験コーナーや大活字本の展示も行います。

また、同ブースでは、地域共生社会実現を目指す新潟県社会福祉協議会の主な活動を紹介します。

すすめる160種の仕事を一挙紹介する「発達障害の子のためのハローワーク」（TEENS執筆チーム著）や「長生きしたいければ「口」を鍛えなさい」（日本訪問歯科協会著）などを用意しました。ご活用ください。

お知らせ

県民介護知識・技術習得講座 介護の基礎コース(全6回)

日時	12月2日(月)・5日(木)・6日(金)・10日(火)・13日(金)・17日(火)
	各10時～16時
場所	新潟ユニゾンプラザ(新潟市中央区上所)
内容	講座「介護保険制度の仕組みとサービス」、高齢者疑似体験、介護実習ほか
定員	先着30人
持ち物	筆記用具、昼食、上履き、動きやすい服装
申込み	電話で新潟県社会福祉協議会 ☎025-281-5525へ

連載「福祉の現場」は休載しました。

◆ご意見・感想お寄せください

◆TEL 0950-8575 新潟市中央区上所2-2-2
◆新潟ユニゾンプラザ3階 新潟県社会福祉協議会企画広報課
◆ファクス 025-281-15528
◆Eメール oasisu@fukushinigaata.or.jp

福祉の店パレット NPO法人ゆうーわ ゆうーわ(就労継続支援B型) 新潟市南区

【施設紹介】
NPO法人ゆうーわは、新潟市南区の旧白根市「戸頭」に拠点を置き、障がいがあるながらも、楽しく、一生懸命働き暮らしています。

【商品説明】「新潟産もち麦」
県産の「はねうまもち」を精麦して販売しています。ご飯と一緒に炊いて食べると体にも優しく、ゆでてサラダやスープに入れると独特の食感が楽しめます。
大サイズ 500g 中サイズ 400g 小サイズ 50g があります。

問い合わせ 福祉の店パレット新潟店 ☎025-281-5513 県社協 地域福祉課 ☎025-281-5521



この機関誌は、赤い羽根共同募金の助成を受け発行しています。

発行所/社会福祉法人 新潟県社会福祉協議会
新潟市中央区上所2-2-2ユニゾンプラザ
☎ 025-281-5584
発行人/関谷 政夫
定 価/5円(会員の購読料は会費に含む)

福祉にいがた
令和元年11月1日発行(毎月1日発行)
昭和27年9月16日 第三種郵便物認可
印刷/島津印刷㈱